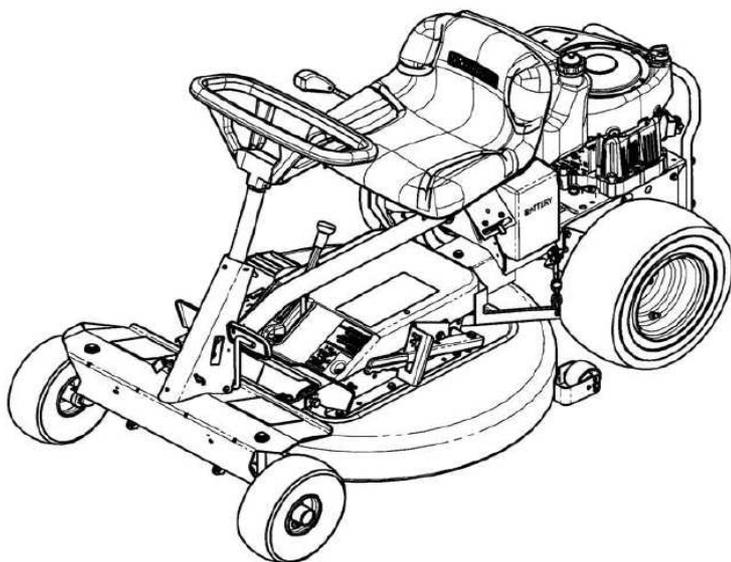




⓵ 運転者の使用説明書

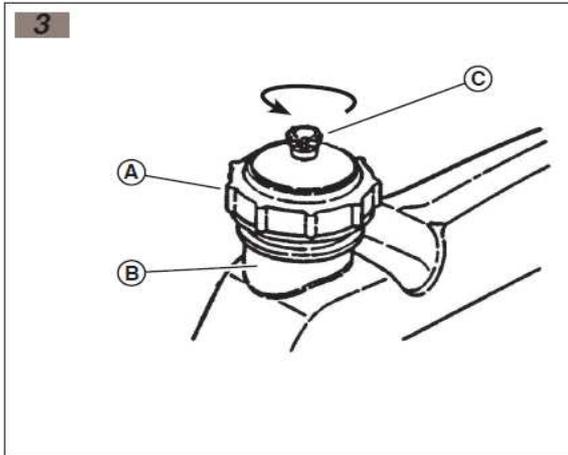
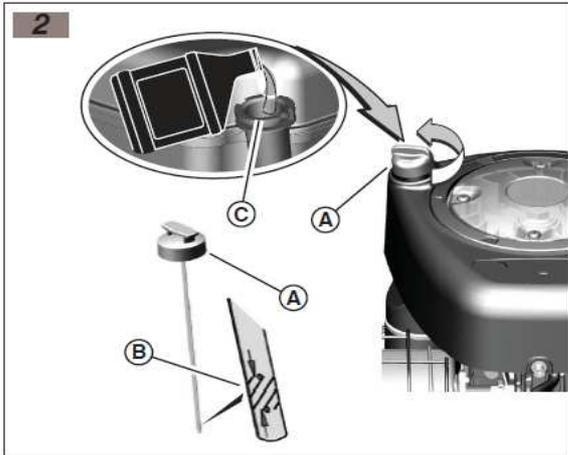
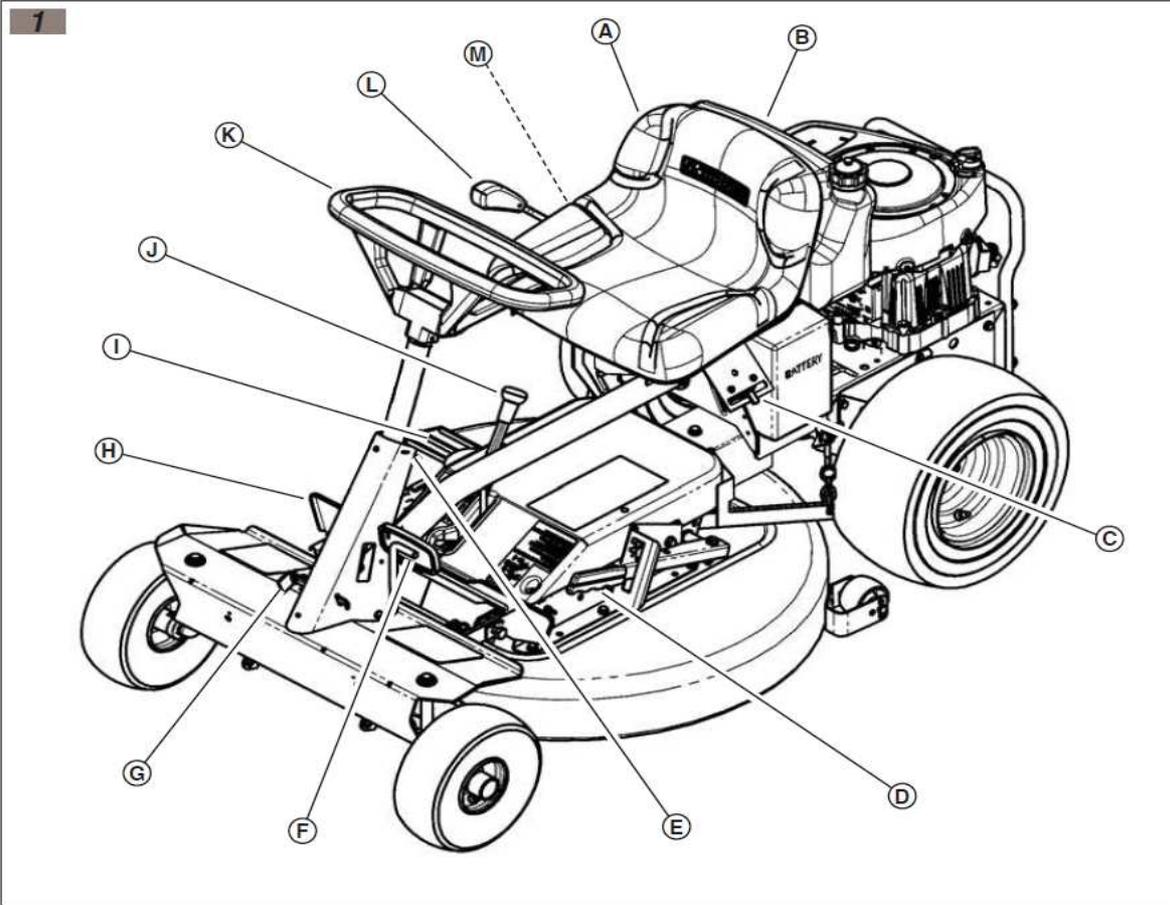


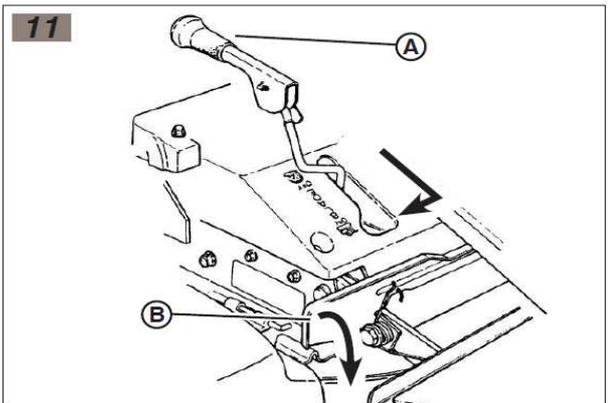
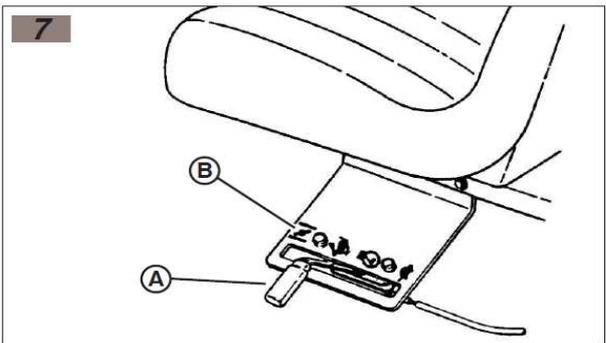
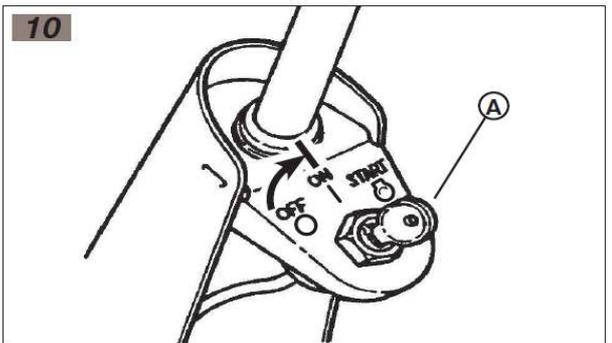
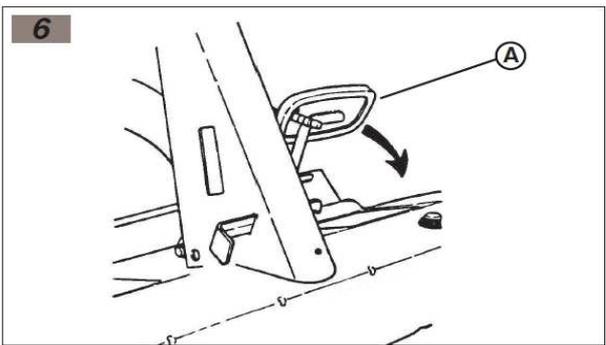
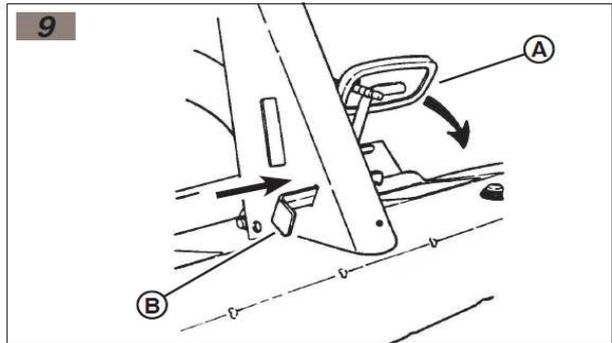
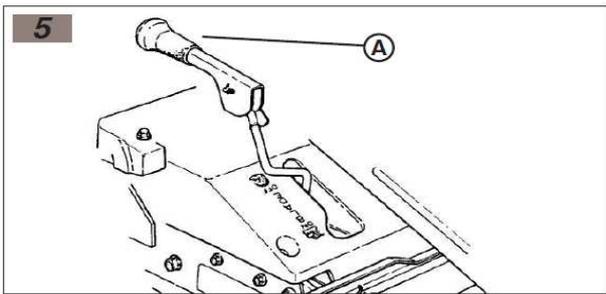
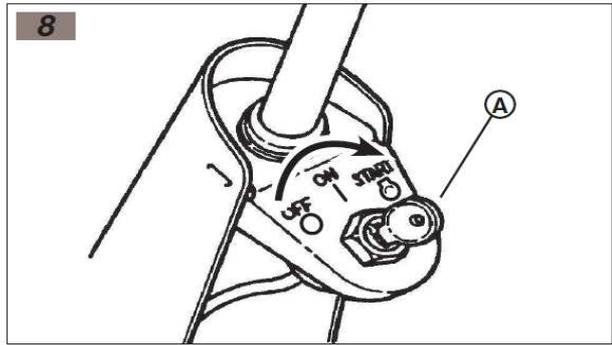
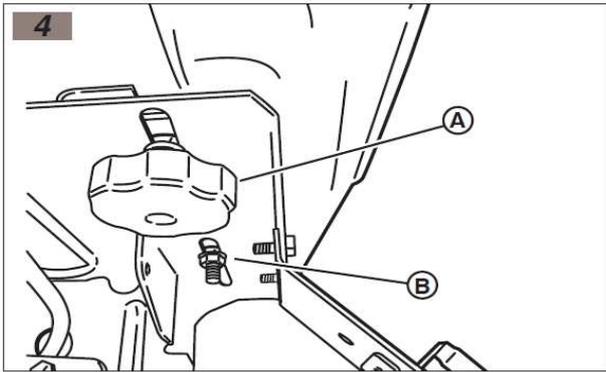
CE

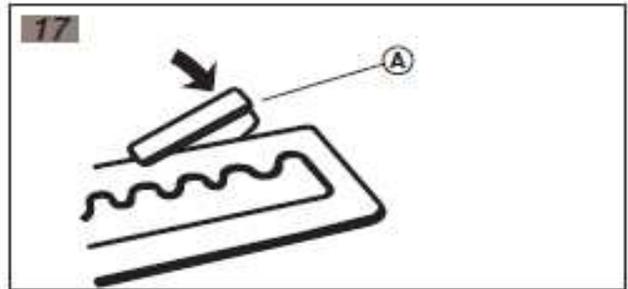
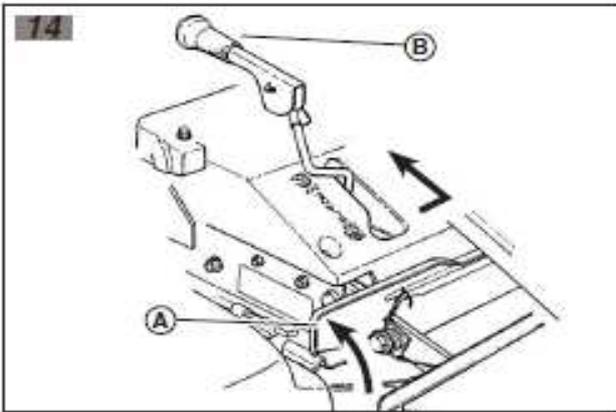
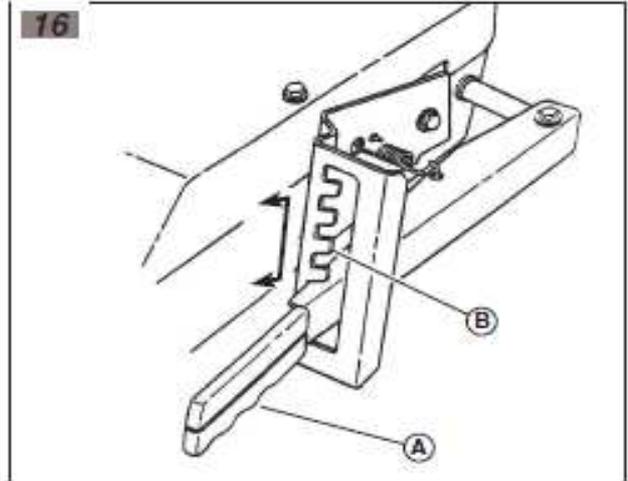
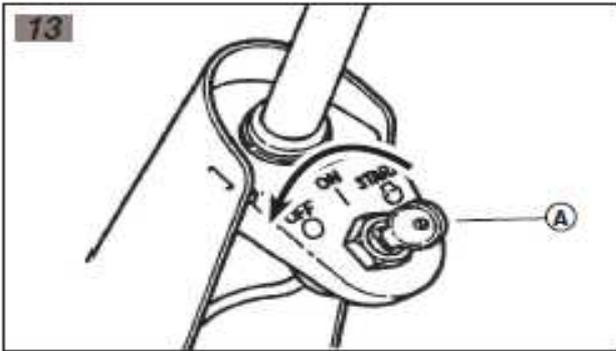
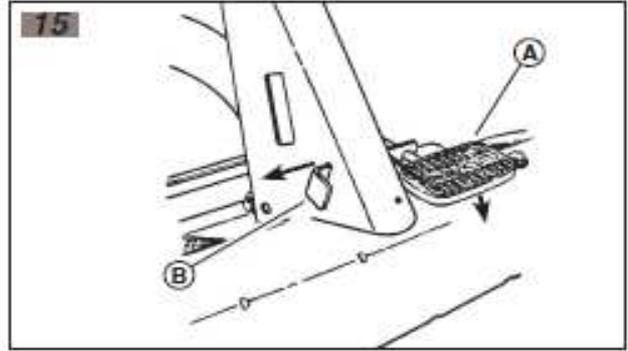
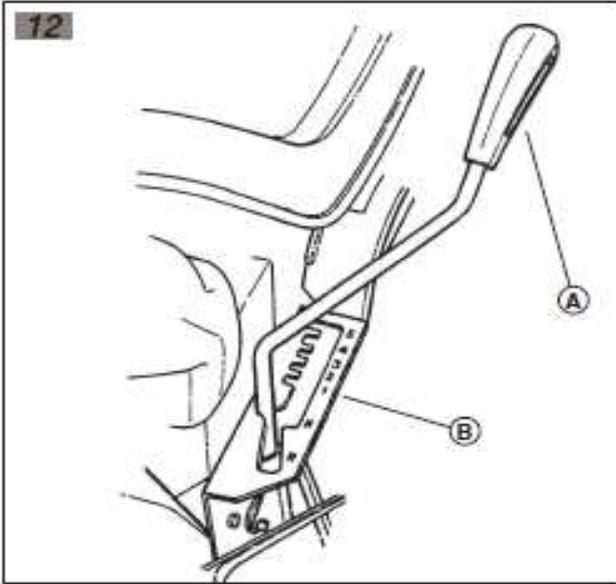
EAC

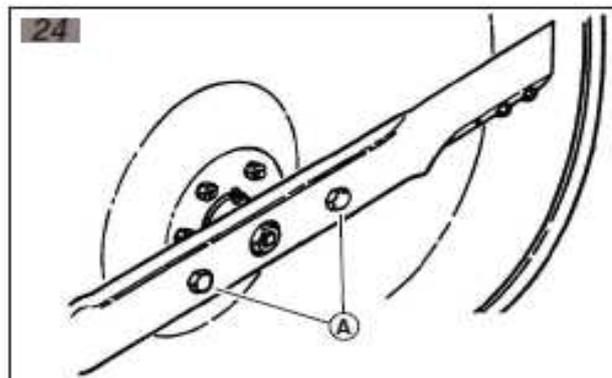
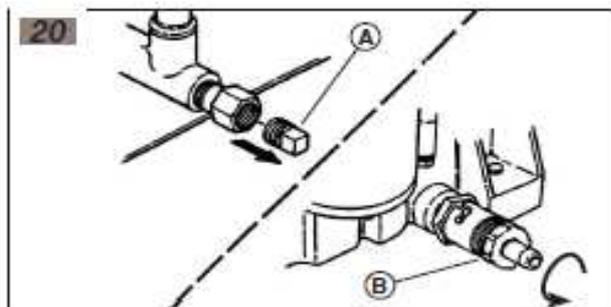
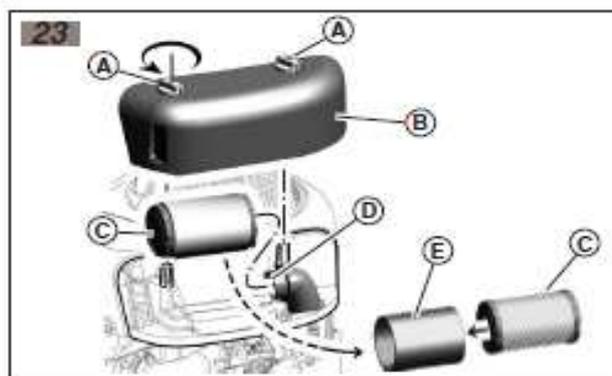
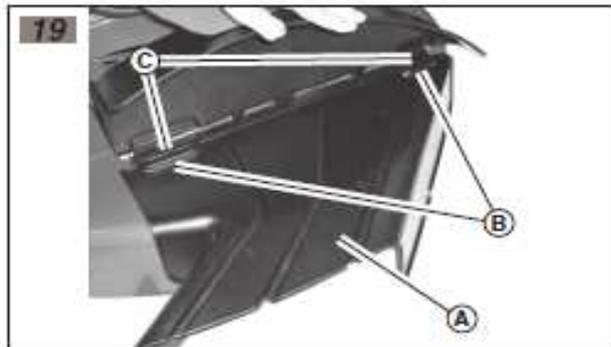
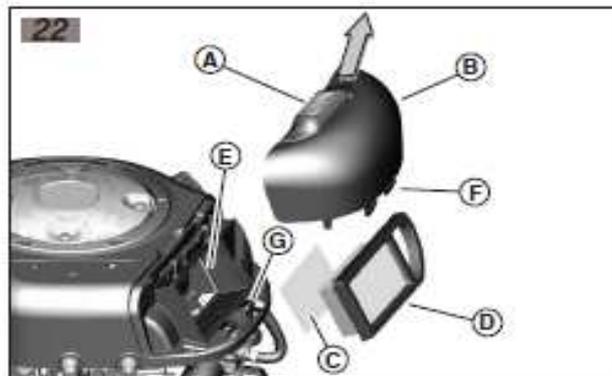
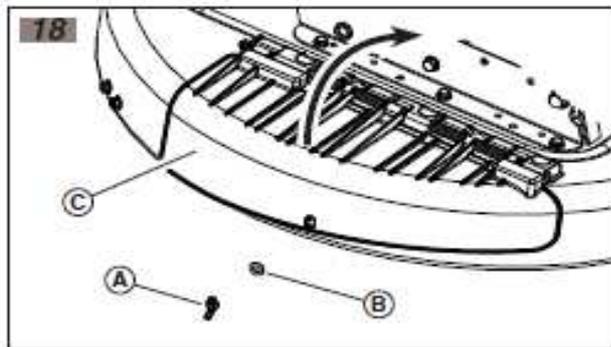
80026888JP

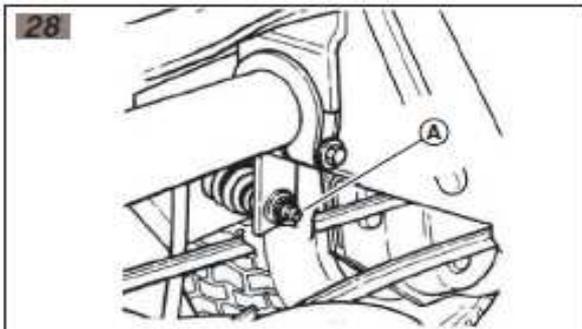
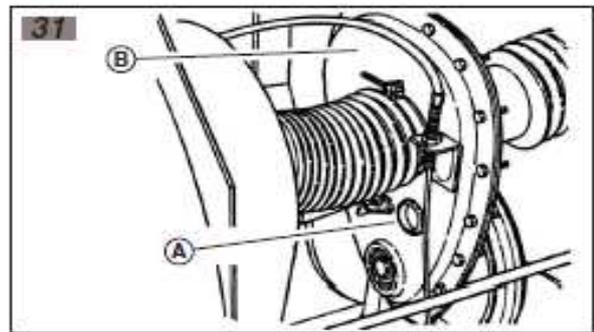
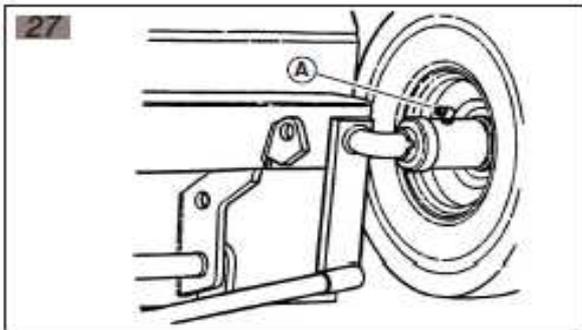
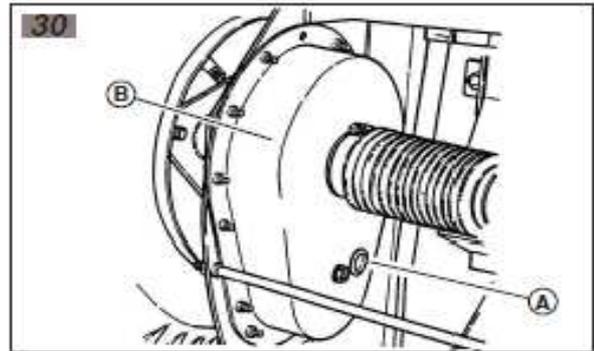
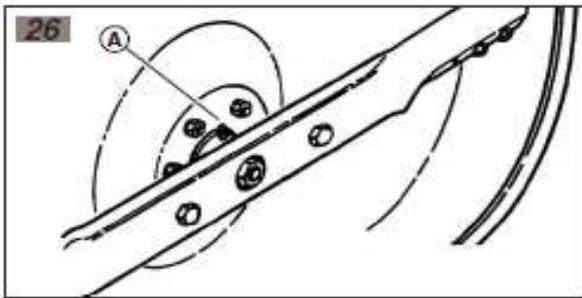
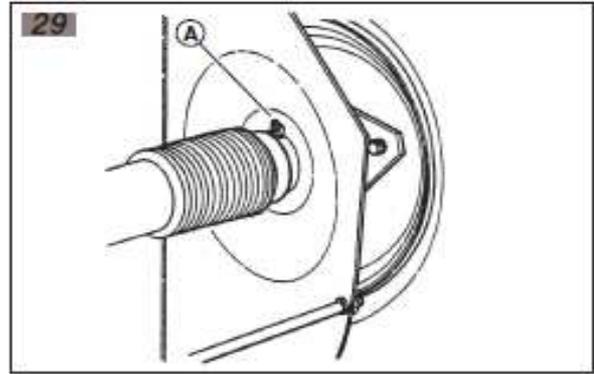
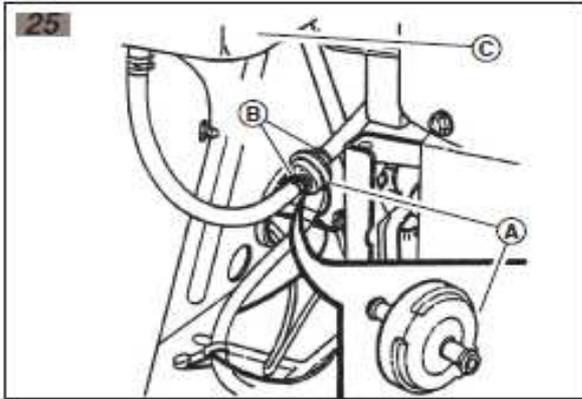
Revision A

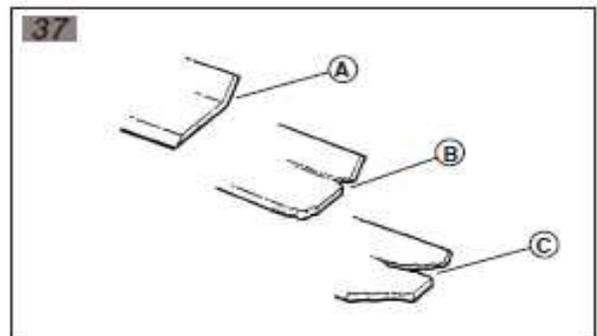
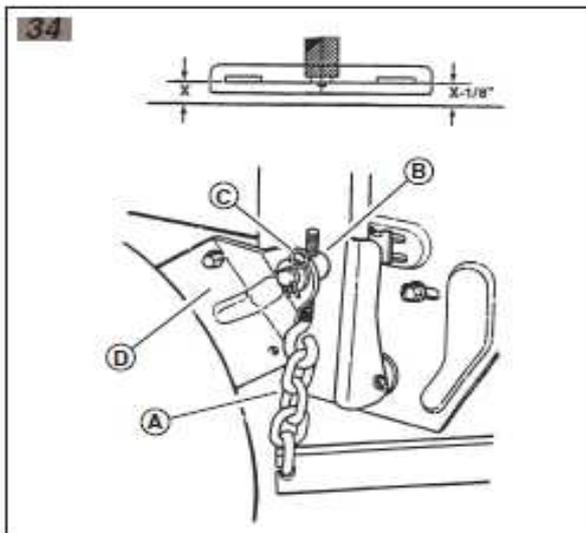
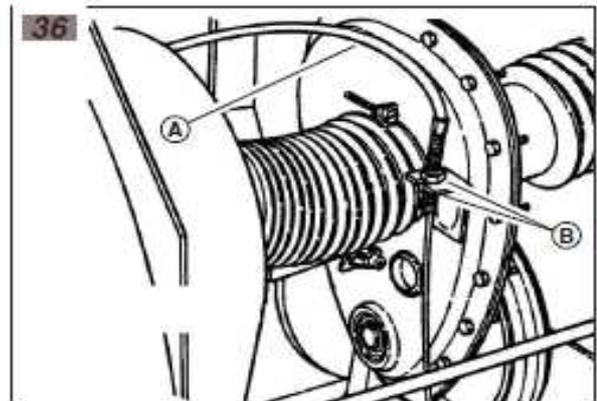
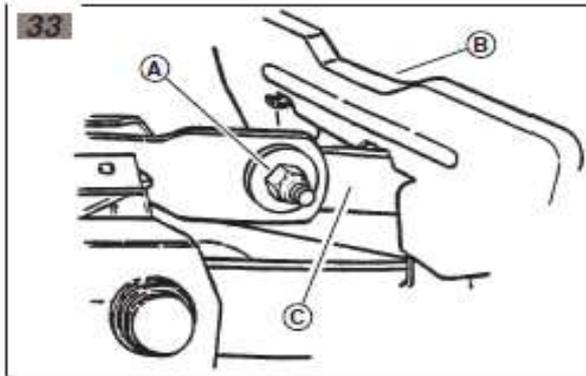
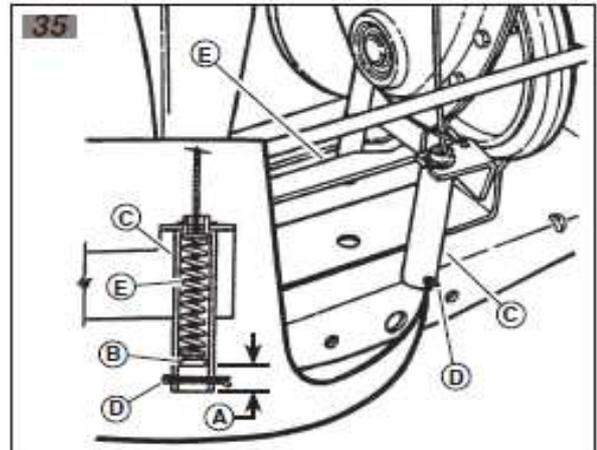
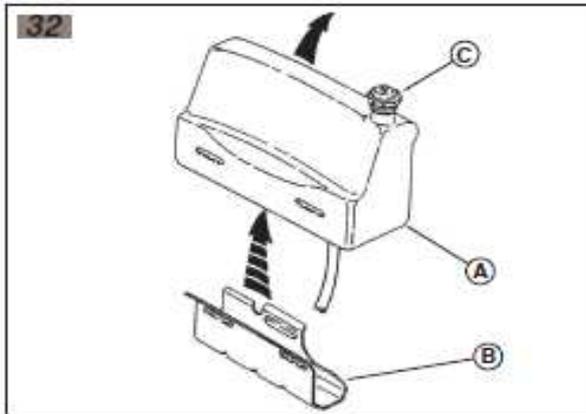


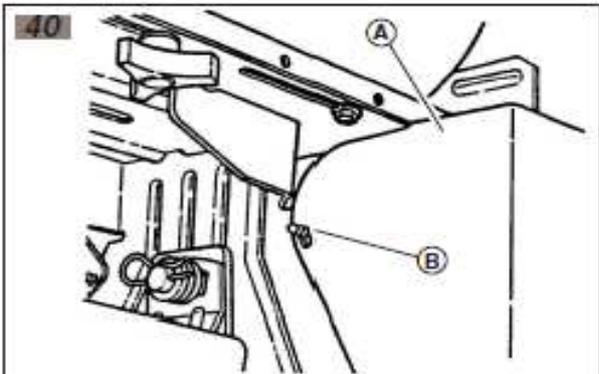
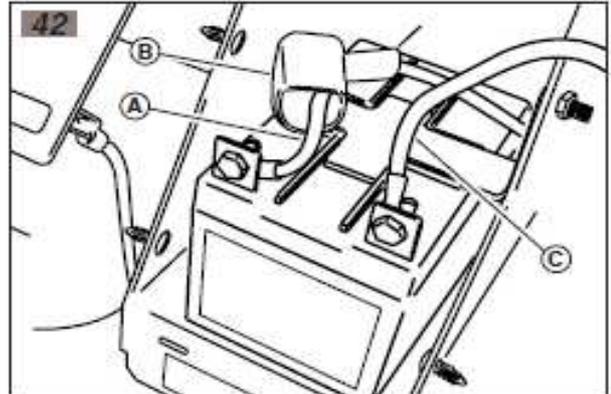
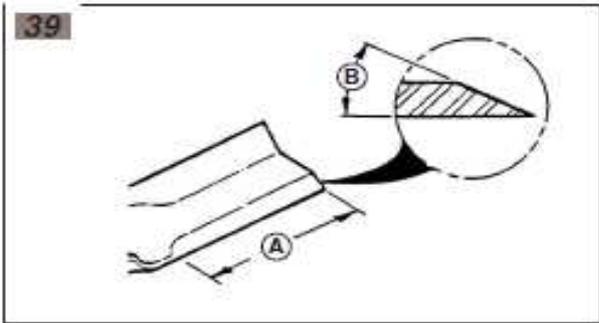
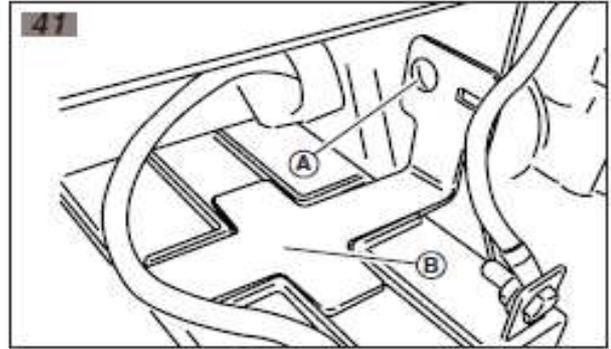
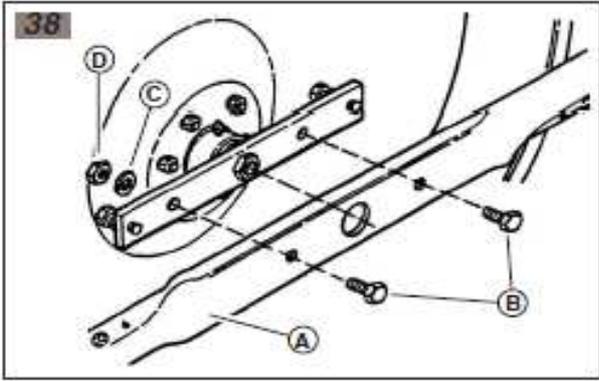












リア・エンジン・ライダーをご購入いただきありがとうございます。また、SNAPPERブランドをお選び頂き誠にありがとうございます。マニュアルに従い、運転および保守を行っていただければ、購入された製品は、長期間ご使用を頂けます。本取扱説明書には、製品に伴う危険とリスクを認識し、それらを回避するための安全に関する情報が含まれています。本リア・エンジン・ライダーは、運転者の使用説明書に記載されている通りに使用されるように設計されており、他の用途を対象にしておりません。本装置を始動または運転する前に、本説明書をよく読み理解することが重要です。今後の参照のため、本取扱説明書を保管しておいてください。本製品を使用する前に最終的な組み立てが必要です。最終組み立て手順についての指示は、セットアップ・ガイドを参照してください。説明書の指示に従ってください。

本製品の部品表は以下のURLからダウンロードしていただけます。

<http://briggsandstratton.co.jp/snapper/>

本マニュアルの対象機種

2691382-00

2691383-00

目次

安全について	10
製品の特長と操作方法	13
作業について	13
メンテナンス	16
安全装置の確認方法	18
トラブルシュート	25
製品仕様	27

ご購入日

販売店

販売店電話番号

製品情報

モデル番号

シリアル番号

エンジン

モデル

タイプ

コード



警告 本製品はの強力な切断機を有しております。手足を切断する力があり、また物体を飛ばして傷害や損害を与える可能性があります。次の安全指示に従わない場合、使用者または他の人が重大な負傷または死亡する可能性があります。本機械の所有者はこれらの指示を理解し、機械の使用に関する指示を理解する者のみに使用を許可しなければなりません。本機械を使用する者は心身共に健康でなければならず、視覚、動作または判断力を損なう可能性のある



警告



有毒ガスの危険 エンジンの排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死亡する危険性があります。一酸化炭素は透明、無味無臭です。たとえ排気ガスの臭気を感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- 本製品は、屋外でのみ、窓、戸口、換気口から離れて運転し、一酸化炭素が居住空間に流入して蓄積する危険を低減するようにして下さい。
- 電池式の一酸化炭素警報器、または予備の電池を備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用している場合や扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫や部分的に囲まれた場所では使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は短時間で蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残留します。
- 本製品は必ず風下に設置し、エンジンの排気口を居住空間に向けないでください。

子供の保護

使用者が子供の存在に注意を払わない場合、重大な事故が起こる場合があります。子供は、機械や芝刈り作業にしばしば大きな関心を寄せることがあります。過去に乗せてもらった子供は、もう一度乗せてもらおうと芝刈り場所に突然現れ、機械によって前進やバックで轢かれるかも知れません。子供は最後に見た場所にそのまま居続けると思い込まないでください。

1. 子供は芝刈り場所に入らないようにし、使用者以外の別の信頼できる大人の保護下に置くようにします。
2. (たとえ刃が動いていなくても)機械の使用中に子供を庭に入れないでください。
3. (たとえ刃が動いていなくても)機械、取り付け具、またはけん引される機器に子供や他の人を乗せないでください。落ちて、重傷を負う危険があります。
4. 13歳未満の子供には機械を使用させてはなりません。
5. 機械の使用は、信頼できる大人および大人の監視下にある判断力を有する13歳以上の子供のみに行ってください。
6. 絶対に必要でない限り、逆向きに刃を動かさないでください。刃を止めてください。バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がないかどうかを調べるために機械の後方および下を確認してください。
7. 視界を遮るかも知れない、見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの物体に近づくときは特別の注意を払います。

横転の防止 傾斜地は、制御喪失および横転事故に関連する主要要因であり、重大な傷害または死亡をもたらされる場合があります。すべての傾斜地には特別な注意が必要です。傾斜地から戻れない場合、または不安を感じる場合は、芝刈りを中止してください。芝キヤッチャーまたは他の取り付け具には特に気をつけてください。これらは機械の正常な取り扱いおよび安定性を損なうことがあります。

1. 10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。
2. 坂を上っている間は刃を動かさないでください。低速で使用し、突然の旋回や急な方向転換は避けてください。
3. 斜面では行ったり来たり小刻みに機械を動かさないでください。斜面を上って下りるようにしてください。傾斜地で刃を動かさない状態で練習してください。
4. 傾斜地では始動、停止または方向転換をしないでください。機械が坂を上れなくなったり、タイヤが滑ったりした場合、刃を止めてゆっくりと斜面を真っ直ぐに下りてください。
5. 地面の穴や他の隠れた危険物に注意します。背の高い芝だと障害物が見えにくくなります。溝、穴、排水溝、フェンス、および突出物に注意します。
6. 溝やその他の急斜面の縁から安全な距離(芝刈り機の幅の2倍以上)を取ります。縁が崩れた場合、機械が横転する恐れがあります。
7. 動かし始めるときは必ずゆっくりと慎重に前進させてください。
8. 機械が後ろに回転している間は前進させないでください。後ろ向きに転倒する恐れがあります。
9. 芝キヤッチャーまたは他の取り付け具に付属の説明書に従い、重りまたは重り付き運搬具を使用します。芝キヤッチャーまたは他の取り付け具を搭載する場合は10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。
10. 足を地面に置くことによって機械を安定させようとししないでください。
11. 湿った芝の上で機械を運転しないでください。摩擦力が落ちると機械が滑る可能性があります。
12. 傾斜地では、停止またはギアシフトを行う必要がないよう十分低い速度を選択します。タイヤは、ブレーキが正しく機能しても、傾斜地上で静止力を失うかも知れません。
13. 静止力、ステアリング、または安定性に疑わしい点がある場合、いかなる状態であっても機械を運転しないでください。
14. 傾斜地を下る場合は必ず機械をギアに入れた状態にします。ニュートラルに入れて(またはハイドロロールリリースを作用させて)坂を下らないでください。
15. 本機械の安定性は、適用されるANSI B71規格に従い、体重200ポンドの操作者によってテストされています。転倒または横転のリスクを最小限に抑えるため、体重が200ポンド以上の操作者は芝刈りの対地速度と傾斜地の勾配をさらに制限する必要があります。

準備

1. マニュアル、芝刈り機、エンジンおよび取り付け具に記載された指示および警告を、読み、理解し、そして従います。始動前に、機械の制御方法および適切な使用方法を理解します。
2. 機械は、責任感と分別のある者のみにより、適切な説明を受けた後に使用されるものとします。
3. 芝刈り機に関連する怪我の大部分には60才以上の使用者が関わっているというデータが示されています。これらの使用者は、自分自身および他人を重大な傷害から守るために十分な芝刈り機使用能力を有しているかどうかを確認しなければなりません。
4. 燃料の取り扱いには十分注意します。燃料は可燃物であり、気化ガスには爆発性があります。燃料容器には、認定品のみを使用します。エンジンが作動している状態で燃料キャップを取り外したり燃料を追加しないでください。燃料の追加はエンジンが停止して冷えた状態で屋外で行います。機械から漏れた燃料は適切に清掃します。喫煙してはなりません。
5. 刃を動かさない状態で機械の操作方法を学習し、技術を身につけてください。
6. 芝を刈るエリアを確認し、玩具、ワイヤー、石、木の枝、および刃に当たって飛ばされたり芝刈りの邪魔になったりする他の物体を取り除きます。
7. 人やペットが芝刈り区域に立ち入らないようにします。芝刈り区域に人やペットが立ち入った場合、刃、エンジンおよび芝刈り機を速やかに停止します。
8. シールド、偏向板、スイッチ、刃コントロール、および他の安全機器の適切な作動および場所を定期的に確認します。
9. すべての安全ステッカーがはっきりと判読できることを確認します。破損している場合は取り替えます。
10. 芝刈り時は自分自身を保護し、安全メガネ、防塵マスク、防音保護具、長ズボンおよび足を十分に保護する靴を着用します。
11. 緊急時の刃とエンジンの停止方法を理解します。
12. 機械をトレーラーやトラックに載せたり降ろしたりする時は特に注意します。
13. 芝キャッチャー部品に摩耗または劣化の兆候がないかどうかを頻繁に確認し、劣化または磨耗部分から物体が飛び出して負傷しないように、必要に応じて交換します。吐き出し口には決して近づかず、障害物がないようにしてください。
14. 可能な限り運転席からエンジンを始動してください。刃が動いておらず、パーキング・ブレーキがかかっていることを確認します。
15. エンジンを動作させたまま機械から離れてはなりません。いかなる理由があっても運転席を離れる前にはエンジンを停止し、刃を止め、ブレーキをかけ、キーを抜いてください。
16. 足をフットレストまたはペダルに乗せて正しく着席するまでは機械を操作しないでください。
17. 芝キャッチャーを取り外し、芝刈り機の詰まりを取り除く際には、指や手を切断しないよう刃とエンジンを停止し、刃が停止していることを確認してください。
18. 芝を刈っている時以外、刃は必ず停止してください。荒れた地面の上を刈る場合、刃は一番高い位置に設定します。
19. デッキの下で回転している刃に手や足を近づけないでください。刃が動いている間には足を地面に着けないでください。

20. 芝生キャッチャーまたはガードが完全に取り付けられておらず、機能しない状態で機械を作動させてはなりません。吐き出し口を人や通過する車、窓、ドア等に向けてはなりません。
21. 向きを変える際には、十分速度を落します。
22. 道路近くを走る場合、または道路を横切るときは車に注意します。
23. 物に当たった場合は直ちにエンジンを停止してください。機械を点検し、修理を行ってから操作を再開します。
24. 日光または良好な人工光の中でのみ機械を運転してください。
25. 荷をけん引する場合は十分な注意を用いてください。荷は安全にコントロールできる重さに制限し、付属の説明書に記載に従って荷を連結板に取り付けます。
26. 傾斜地では、けん引される機器の重量がけん引力の喪失および制御の喪失の原因になることがあります。けん引する際はゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。
27. 密閉された区域でエンジンを始動させてはなりません。エンジンからの排出ガスには死亡につながる有毒性の一酸化炭素が含まれています。
28. 物体を壁や障害物に向けて吐き出さないようにしてください。使用者に向かって跳ね返ってくる可能性があります。
29. 付属品はメーカー認定品のみを使用します。付属品の適切な使用および取り付けについてはメーカーの指示を参照してください。
30. 騒音および振動のため、機械の運転時間を制限しなければなりません。

けん引のおそれがあるときは機械を運転しないでください。

1. けん引は、けん引用に設計された連結装置を有する機械でのみ行います。連結装置以外にけん引される機器を取り付けしないでください。
2. けん引される機器の重量制限および傾斜地でのけん引については、操作セクションの「けん引の実施」を参照してください。
3. けん引される機器に子供やその他の人を乗せないでください。
4. 傾斜地上では、けん引される機器の重量がけん引力の喪失および制御の喪失の原因になるおそれがあります。傾斜地で運転する際は注意してください。
5. ゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。

メンテナンス

1. 芝刈り機または燃料容器は、そのガスが、給湯器、加熱炉、衣服乾燥機やその他のガス器具内の直火、スパークまたは種火に届くような場所に保管しないでください。機械を屋内に保管する前には、エンジンが冷えていることを確認します。燃料容器は子供の手が届かず、通気が良く、居住場所でない建物の中に保管します。
2. 火事の危険およびエンジンのオーバーヒートを軽減するために、芝、落葉または余分な潤滑油をエンジンおよび機械から取り除きます。
3. 燃料タンクから燃料を抜く際は、屋外で、直火から離れた場所で、認定容器を使用します。
4. ブレーキは頻繁に点検し、必要に応じて調整、修理、または交換します。
5. すべてのボルト、ナットおよびネジはしっかりと締め付けてください。すべてのコッタピンが適切な位置にあることを確認します。認定の交換部品または同等部品のみを使用します。

6. エンジンの運転中は常に十分な換気を行います。排気ガスには無臭で有毒な一酸化炭素が含まれています。
7. 保守や修理を行う前にバッテリーから負極(黒色)ケーブルを外します。エンジクランクを回すと負傷する恐れがあります。
8. 安全ブロックを付けずに機械の下で作業しないでください。
9. 装置の端を下にして立てないでください。
10. エンジンの点検および調節はエンジン停止中のみに行います。スパークプラグからスパークプラグワイヤを取り外し、ワイヤをスパークプラグから離れた位置に保管します。
11. エンジン調速設定を変更したりエンジンを過回転させないでください。
12. マニュアルに記載された間隔で機械に潤滑油を差し、制御の固着を防ぎます。
13. 芝刈り機の刃は鋭利で良く切れます。刃の取り扱い時は、刃をくるみ、あるいは厚手の革手袋を着用し、注意して作業します。
14. スパークプラグはスパークプラグホルルの隣に接地することでテストしてはなりません。エンジン内のガスに着火する可能性があります。
15. 機械は、認定ディーラーによる最低年1回の点検を行い、新しい安全機器を取り付けます。
16. 安全および指示ラベルを維持し、必要に応じて交換します。
17. 修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。

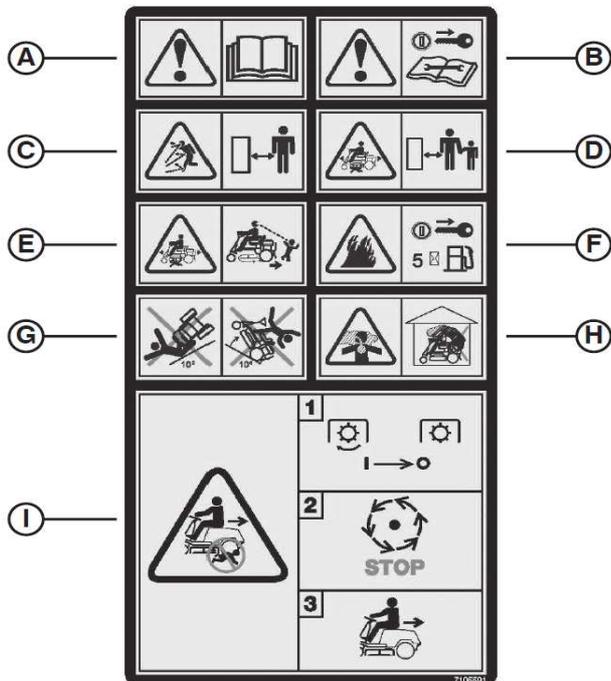
安全および指示用銘板

本製品（ライダー芝刈り機）には危険、警告、注意、指示が張り付けられており、確実に理解し、それらの指示に従わなければなりません。これらの指示に従わないと、人身事故になることがあります。

これらの情報は作業者の安全のためのものであり、とても重要です。

これらの安全銘板は本機及びモアデッキに貼り付けられています。

これらの銘板を紛失または損傷した場合は、必ず交換してください。



安全指示銘板 7101166

A: 警告: 本機械を使用する前に操作マニュアルを読んで理解してください。すべての制御装置の位置および機能を理解してください。訓練を受けていない場合、この機械を運転しないでください。

B: 危険: 修理および保守は、キーを抜き、技術資料を調べてから行います。

C: 危険、飛散物および手足の切断の危険: 傷害を避けるため、周囲に人や子供を近づかせないでください。

D: 危険 - 手足の切断の危険: 子供などが周囲にいる時は芝刈りをしてしないでください。

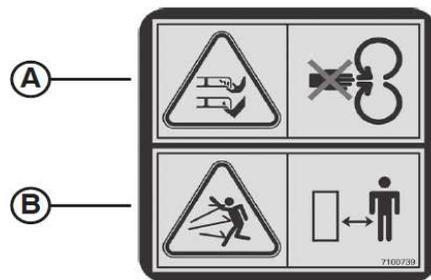
E: 危険: 絶対に必要でない限り、後進しながら芝刈りをしてしないでください。後進の前とその最中は、下や後方に注意してください。たとえ、刃が停止していても、人、特に子供を乗せないでください。

F: 危険: 火災の危険。エンジンが高温の状態もしくは運転中に燃料を補充しないで下さい。燃料を給油する場合はエンジンを停止して5分間エンジンを冷やしてから給油を行ってください。

G: 危険: 製品の転倒。10度以上の傾斜地では使用しないで下さい。

H: 危険: 一酸化炭素中毒・換気の悪い場所でエンジンを操作しないで下さい。

I: 注意: 後進する際には、モアブレードを停止させてから本機を後進させてください。



モアデッキ警告銘板 7100739

A: 危険 - 飛散物および手足の切断の危険: 回転刃による負傷を避けるため、デッキのエッジから離れ、他の人も近づかせないようにします。

B: 危険、飛散物および手足の切断の危険: 傷害を避けるため、周囲に人や子供を近づかせないでください。



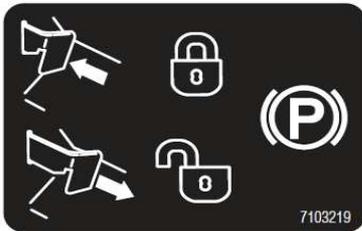
警告銘板 7101167

危険 - 飛散物および手足の切断の危険: 回転刃による負傷を避けるため、デッキのエッジから離れ、他の人も近づかせないようにします。排出シュートや集草バッグを取りつけずに作業をしないで下さい。



クラッチ/ブレーキ 7028514

クラッチ/ブレーキペダルを表しています。クラッチ/ブレーキペダルを踏み込むとクラッチが切れてブレーキも作動します。



駐車ブレーキ 7103219

駐車ブレーキラッチを表しています。駐車ブレーキの操作項を参照してください。



後進時モア停止解除レバー 7104796

後進時モア停止解除レバーを表しています。更新時モア停止解除項を参照下さい。

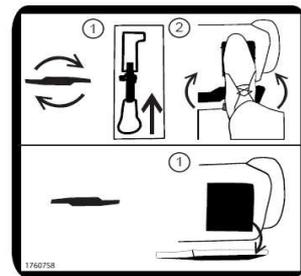
警告

必要が無い限り後進しながらの草刈り作業は行わないで下さい。



刈高さ 7103440

刈高さ位置を表しています。刈高さ調整方法項を参照下さい。



ブレードON/ブレードOFF 1760758

モアブレードの作動状況を表しています。
モアブレード作動、エンジン停止を表しています。

機能と制御装置

図1を参照下さい

REF	説明	シンボル	シンボルの意味
A	運転席	---	---
B	燃料タンク	---	---
C	エンジンスピードコントロール		チョークON (閉位置)
			ハイアイドル
			ローアイドル
D	刈高さ調整レバー		刈高さ
E	イグニッションスイッチ		エンジン停止
			エンジンON (RUN)
			エンジン始動
F	クラッチ/ブレーキペダル		クラッチ接続
			ブレーキ作動
G	駐車ブレーキクラッチ		駐車ブレーキ作動
H	ブレードペダル	---	---
I	マルチングカバー	---	---
J	ブレードレバー		ブレード回転
			ブレード停止
K	ステアリングホイール	---	---
L	トランスミッションシフトレバー		前進速度調整
			ニュートラル (停止)
			後進速度調整
M	後進時モア停止解除レバー	---	---

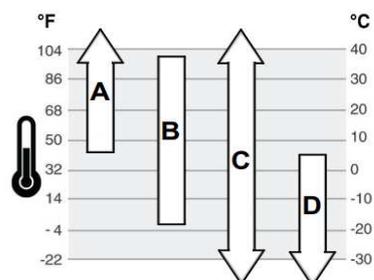
運転

作業の前に以下の項目を点検してください

- 1、タイヤの空気圧を確認してください。前輪15PSI、後輪12PSIに調整してください。
- 2、各部ガード、ディフレクター、カバーを確認し、適切な場所に確実に固定されていることを確認してください。
- 3、エンジンオイル量を点検し、必要に応じてオイルの補充を行ってください。「オイルの確認/追加方法」を参照してください。
- 4、必要に応じてシートを最適な位置に調整してください。「シートの調整」を参照してください。
- 5、ブレードコントロールがOFFの位置になっていることを確認してください。ブレードペダルが踏み込まれている場合、ブレードレバーを手動でON位置からOFF位置に動かしてください。
- 6、後進時モア停止解除システムを確認してください。ブレードペダルが踏み込まれている状態では、後進時エンジンが停止することを確認してください。エンジンが停止することを確認してください。
- 7、モアデッキ、エンジンなどに汚れ、草の堆積、オイルの付着などが無いか確認してください。エンジンの吸気口スクリーン、シリンダ冷却フィンは常に清潔に保ってください。
- 8、燃料タンクに燃料を給油してください。「燃料の給油方法」を参照してください。

推奨オイル

最適な性能を得るために、ブリッグズ アンド ストラットン純正オイルのご使用を推奨します。また、グレードSF、SG、SH、SJ以上に分類される高性能清浄オイルのご使用も可能です。特殊な添加剤は使用しないでください。屋外の温度によって、エンジンに適したオイル粘度が異なります。下記のチャートを参照して、予想される室外温度範囲に最適な粘度を選択してください。



A	SAE 30 - 4°C(40°F)以下でSAE 30を使用すると、始動しにくくなります。
B	10W-30 - 27°C(80°F)以上で10W-30を使用すると、オイル消費量が増加する可能性があります。オイル量を頻繁に確認してください。
C	Synthetic 5W-30
D	5W-30

オイルの点検/追加方法

オイルの注入や点検の前に

- 製品を水平な位置に移動して下さい。
 - オイル注入口付近のゴミを清掃して下さい。
1. 検油棒(A、図2)を外して、きれいな布で拭いて下さい。
メモ：一部のモデルでは、検油棒は運転席背後の開口部からアクセスします。
 2. 検油棒を差し込んで締めて下さい。
 3. 検油棒を取り外して、オイル量を点検します。検油棒の満タン表示(B、図2)の最上位置であるべきです。
 4. オイルレベルが低い場合、エンジンオイル注入口にオイルをゆっくり追加します(C、図2)。エンジンオイルは入れ過ぎないで下さい。オイルを注ぎ足した後、1分間待って、もう一度オイルレベルを点検します。

推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新しい無鉛ガソリン。
- 87オクタン以上/87 AKI(91 RON)。高地での使用は以下を参照してください。10%までのエタノール含有のガソリン(ガソホール)はご使用になれません。

注 E15やE85などの承認されていないガソリンは使用しないでください。ガソリンにオイルを混入したり、代替燃料を使用するためにエンジンを改造したりしないでください。承認されていない燃料を使用するとエンジン部品を損傷させる原因になります。この損傷は保証の対象になりません。

燃料供給装置でガム質が生成されるのを防ぐため、燃料に燃料安定剤を混入してください。保管の項を参照してください。すべての燃料は同じではありません。始動または性能の問題が生じた場合、燃料供給業者またはブランドを変更してください。このエンジンは、ガソリンで動作することが保証されています。このエンジンの排出制御システム

高地

5,000フィート(1,524メートル)を超える高地では、85オクタン/85 AKI(89 RON)以上のガソリンをご使用になれます。キャブレター・エンジンの場合、性能を維持するためには高地向けの調整が必要になります。この調整なしに使用すると、性能が低下し、燃料の消費が増え、排気量が増えます。高地調整の詳細については、Briggs & Stratton認定サービスディーラーにお問い合わせください。高度2,500フィート(762メートル)以下の場所で、高地の調整をしてエンジンを運転することは推奨されません。電子式燃料噴射(EFI)エンジンの場合、高地調整は必要ありません。

燃料の追加方法



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいものです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも5分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で燃料の補充を行ってください。
- 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料はスパーク、直火、種火、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
- ひびや漏れがないか定期的に燃料パイプ、タンク、キャップ、およびニップルを確認します。必要に応じて交換します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。

1. 燃料キャップ付近の埃やゴミを清掃します。燃料キャップを取り外して下さい(A、図3)。
2. タンクに燃料を注入します。燃料の膨張を許容するため、燃料タンクの細くなっている部分(B、図3)の一番下より上には注入しないでください。
3. 燃料キャップを再び取り付けます。燃料キャップのベンチレーション(C、図3)が必ずOPEN位置になっていることを確認してください。

運転席の調整方法

1. エンジンを停止させ、運転席を上へ上げ、2つの調節ノブ(A、図4)を緩め、座席を最適な位置に動かします。調節後、ノブをしっかりと締めシートを固定させます。
メモ：もし2つの調節のブリッグスアンドストラットンジャパン株式会社を緩めてもシートが動かない場合は、シート下面にある5/16サイズのネジもしくはナットを緩めてください。(B、図4)

エンジンの始動方法



警告



有毒ガスの危険。エンジンの排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死に至る危険性があります。一酸化炭素は透明、無味、無臭です。たとえ排気ガスの臭いを感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- 本製品は、屋外でのみ、窓、戸口、換気口から離れて運転し、一酸化炭素が居住空間に流入して蓄積する危険を低減するようにして下さい。
- 電池式の一酸化炭素警報器、または電池バックアップを備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用したり扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫、その他部分的に囲まれた場所で使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は短時間で蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残ります。

電動スターター

重要：電動スターターが作動しているにもかかわらずエンジンが始動しない場合は、クラッチ/ブレーキペダルを踏んでいないことを確認してください。また、ブレードレバーはOFFの位置にしてください。エンジンを始動させる場合には、運転席にオペレーターが着座してください。

エンジンの始動方法

1、燃料キャップ (A)のベンチレーション (B,図3) を反時計方向に回転させてOPEN位置にしてください。

重要：ベンチレーションをOPEN位置にしない状態でエンジンを始動させた場合、エンジンが停止する場合があります。

2、トランスミッションシフトレバーをニュートラル位置 (N)に動かします。

重要：トランスミッションシフトレバーをドライブ位置の状態で行



警告



トランスミッションシフトレバーがドライブ位置の状態ではエンジンが始動する場合があります。以下の始動方法にし安全に注意し従ってください。

3、ブレードレバー (A,図5) がOFF位置にあることを確認してください。

4、クラッチ/ブレーキペダル (A,図9) を押し下げ、駐車ブレーキクラッチ (B)を動かして、クラッチ/ブレーキペダルを話中茶ブレーキをセットします。

5、エンジンが冷えている場合はエンジンスピードコントロール (A, 図7) をチョーク位置 (B)に動かしてください。

6、キースイッチ (A,図10) をON位置に回してください。

7、リコイルスターターロープを引っ張りエンジンを始動させてください。

メモ：リコイルスターターのロープは常にリコイルハウジング内に戻してください。

エンジンが始動後、エンジンスピードコントロールをFAST位置に動かしてください。

芝刈り機の刃の嵌合方法



警告



ブレードペダルを離した場合、3秒以内に完全に停止します。もし、3秒以上回転し続ける場合は、ブレードブレーキを調整する必要があります。

販売店まで連絡ください。

ブレードブレーキが正常に作動するまで製品を使用しないで下さい。

1、エンジンが運転中にエンジンスピードコントロールをFAST位置に移動します。

2、ブレードレバー (A, 図11) をON位置にしてから、ブレードペダル (B)を踏み込んでください。

走行クラッチの嵌合方法

1、エンジンが運転中にエンジンスピードコントロールをFAST位置に移動します。

2、クラッチ/ブレーキペダル (A, 図6) を踏み込みます。

3、トランスミッションシフトレバー (A, 図12) を前進スピードノッチ (B)位置に動かしてください。

4、クラッチ/ブレーキペダルをゆっくり離して前進してください。

5、前進中はクラッチ/ブレーキペダルを踏むことなくトランスミッションシフトレバーを操作し前進速度を変更することができません。

メモ：最良の芝刈り作業を行うには、エンジンスピードコントロールをFAST位置にし、トランスミッションシフトレバーをSLOW Forward位置で作業を行ってください。ブレードが適切に作業でき集送もしくは排出が可能です。



警告



ブレードを停止させずに後進しないで下さい。

バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がなにかどうかを調べるために後方および下方を確認します。

エンジン、トランスミッション、ブレードの停止方法



警告



エンジンを運転したまま本機を放置しないで下さい。
ブレードを停止させてエンジンを停止、ニュートラル位置にレバーを移動せさせ、駐車ブレーキを作動させてからキーをOFF位置にしてください。

エンジン

1、キー (A,図13) をOFF位置にしてエンジンを停止させてください。

走行

1、クラッチ/ブレーキペダル (A、図6) を踏み込んで本機を停止させてください。

モアブレード

1、ブレードペダル (A、図14) を離すか、ブレードレバー (B)を



警告



ブレードペダルを離した場合、3秒以内に完全に停止します。もし、3秒以上回転し続ける場合は、ブレードブレーキを調整する必要があります。

販売店まで連絡ください。

ブレードブレーキが正常に作動するまで製品を使用しないで下さい。

駐車ブレーキの操作方法

1、駐車ブレーキを作動させる場合には、クラッチ/ブレーキペダル (A、図9) を踏み込み、駐車ブレーキクラッチ (B)をスライドさせ、クラッチ/ブレーキペダルを離してください。



警告



2、駐車ブレーキ状態を解除する場合は、クラッチ/ブレーキペダル (A、図15) を強く踏み込みます。駐車ブレーキクラッチ (B)はスプリングにより解除位置に戻ります。

刈高さ調整

1、刈高さを調整するにはデッキリフトレバー (A、図16) を刈高さレバーガイドのノッチ (B)の目的の高さに合わせて上下させてください。

後進時モア停止解除システム

本製品には後進時モア停止解除システムを装備しています。後進時にはモアが作動している間はエンジンが停止します。後進時モア停止システムを解除するとモアを作動させた状態で後進することが可能になります。後進しながらの芝刈りは、近くにいる人たちにとって危険です。使用者が子供の存在を見落とした場合、重大な事故が発生する場合があります。子供がいる場合は、RMOを作動させないでください。子供は、装置や芝刈りの作業に大きな関心を寄せません。

後進時モア停止解除手順

- 1、本機を停止させ、ブレードを停止させます。
- 2、後進時モア停止解除レバー (A,図17) を押し続けます。
- 3、ブレードペダルを押し続けてながら、後進時モア停止解除レバーを離します。
- 4、ブレードレバーをON位置に動かします。



警告



ブレードを停止させずに後進しないで下さい。
バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がな
いかどうかを 調べるために後方および下方を確認します。

ディスチャージデフレクターの取り付け



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行
おうとしないでください。

- エンジンを停止
- ブレードを停止
- 駐車ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた 位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、 械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行って
ください。
- 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するため

1、マルチングカバー (C)の下側をモアデッキに固定しているナット (A,図18) とワッシャー (B)を取り外します。



警告



マルチングカバーは必ず取り付けられた状態で作業を行ってください。

- 2、マルチングカバーを持ち上げ、ます。デッキのボルトにナットとワッシャーをしっかりと締め付けてください。
- 3、マルチングカバーヒンジブラケットの固定タブ (C)にデフレクターの溝 (B)を合わせてディスチャージデフレクター (A,図19) を取り付けてください。
- 4、マルチングカバーをおろします。
- 5、ディスチャージデフレクターの取り外す。
 - マルチングカバーを持ち上げる。
 - ディスチャージデフレクターをモアデッキから持ち上げながら取り外す。
 - モアデッキからワッシャー及びボルトを取り外す。
 - マルチングカバーをおろし、ワッシャーとナットで固定する。

メンテナンス

メンテナンスチャート

	警告	
<p>エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしない てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エンジンを停止 • ブレードを停止 • 駐車ブレーキをかけます。 • キーを抜きます。 • スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた 位置に固定します。 • エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、 械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行って ください。 • 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止 		

ライダー
8時間毎もしくは毎日
安全装置の作動確認
本体とモアデッキの清掃
エンジンルームの清掃
2.5時間毎もしくは毎年 ※1
タイヤ空気圧の確認
モアブレードの停止速度の確認
本体とモアデッキの締め付け確認
5.0時間毎もしくは毎年 ※1
バッテリー及びバッテリーケーブルの清掃
本機側ブレーキ確認
年に1回販売店での確認
本機とモアデッキのグリスアップ
モアブレードの確認 ※2

※1 どちらか早い方で実施

※2 モアブレードの確認は環境（砂地や高負荷等）により確認頻度を増やしてください

エンジン
最初の5時間
エンジンオイル交換
8時間毎もしくは毎日
エンジンオイル量の確認
2.5時間毎もしくは毎年 ※1
エアクリーナーとプレクリーナーの清掃 ※2
5.0時間毎もしくは毎年 ※1
エンジンオイル交換
エンジンオイルフィルター交換
毎年
エアクリーナーの交換
プレフィルターの交換
年に1回販売店での確認
マフラー及びスパークアレスターの確認
スパークプラグの交換
燃料フィルターの交換
冷却システムの清掃

※1 どちらか早い方で実施

※2 埃などが多い場合は点検の頻度を増やしてください

エンジンのメンテナンス

	警告	
<p>エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしない てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エンジンを停止 • ブレードを停止 • 駐車ブレーキをかけます。 • キーを抜きます。 • スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた 位置に固定します。 • エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、 械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行って ください。 • 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するためしっかりと締めてください。 		

エンジンオイルの交換

使用済みのオイルは有害廃棄物であり、適切に廃棄しなければなりません。家庭ゴミと一緒に廃棄しないで下さい。安全な廃棄とリサイクル施設については、地方自治体、サービス・センター、ディーラーにご確認下さい。

1. 前輪の下にレンガまたは木片をはさみ、エンジン後部を下げます。
2. エンジンのオイル注入キャップを緩めるか取り外します。
3. 2クォート以上の容量の容器をオイル・ドレンの下に置きます(図20)。
4. エンジンに装備されているオイル・ドレーン・プラグの種類に応じて、オイル・ドレーン・プラグを取り外すか開けます(AまたはB、図20)。

メモ：オイル・ドレーンの位置はモデルによって異なります。

5. すべてのオイルを排出した後、ドレン・プラグを元に戻すか閉じて、こぼれたオイルをすべて拭き取ります。使用済みオイルは適切に廃棄します。
6. エンジンに新しいオイルを注ぎます。「オイルの点検/追加方法」項を参照してください。

エンジンオイルフィルターの交換

(装備されている場合)

一部のモデルにはオイルフィルターが装備されています。交換時期については保守表をご覧ください。

1. エンジンからオイルを抜き出します。「エンジンオイルの交換方法」を参照してください。
2. オイルフィルター(A、図21)を取り外し、適切に廃棄します。
メモ：オイルフィルターの位置はモデルによって異なります。
3. 新しいオイルフィルターを設置する前に、オイルフィルターガスケットに新しい混入物のないオイルを潤滑油として少量使って下さい。
4. ガスケットがオイルフィルターアダプターに接触するまで手で取り付けて、それからオイルフィルターを1/2から3/4回転締めます。
5. オイルを注入します。操作セクションの「オイルの点検/追加方法」を参照してください。
6. エンジンを起動します。エンジンの暖機運転中にオイル漏れを点検します。
7. エンジンを止めてオイルレベルを点検します。適切なレベルは、検油棒の満タン表示の最上位置です。

エアフィルターのメンテナンス



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいものです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。• エアクリーナ-アセンブリー(装備されている場合)やエアフィルター(装備されている場合)を外した状態でエンジンを始動したり運転した

注意：フィルターの清掃に高圧エアや溶剤を使用しないで下さい。高圧エアはフィルターを破損させる可能性があり、溶剤はフィルターを溶損させます。

平面エア・フィルター

1. カバーのハンドル(A、図22)を引き出します。カバーのハンドルをエンジン方向に回し、カバー(B)を取り外します。
2. 装備されている場合、プレクリーナー(C、図22)をフィルター(D)から外します。
3. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを固い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
4. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。それから、完全に空気乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
5. 乾燥したプレクリーナーとフィルターをエンジン・ベース(E、図22)に取り付けます。
6. カバーのタブ(F、図22)の位置をブローハウジングのスロット(G)に合わせます。カバーのハンドルを回して戻し、押して元の位置にロックします。

円筒カートリッジエアフィルター

1. ファスナー(A、図23)およびエアフィルターカバー(B)を取り外します。
2. フィルター(C、図23)を取り外すには、フィルターの端を持ち上げて、フィルターを吸気口(D)から引き出します。
3. 装備されていれば、エア・クリーナー(E、図23)をエア・フィルターから外して下さい。
4. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを硬い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
5. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。洗浄後、しっかりと乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
6. プレクリーナーが乾いたらフィルターに取り付けます。
7. フィルターを吸気口に取り付けます。表示されているように、フィルターの端をベースに押し込みます。フィルターがベースにしっかりと取り付けられていることを確認します。

本機のメンテナンス



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしないでください。

- エンジンを停止
- ブレードを停止
- 駐車ブレーキをかけます。
 - キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行ってください。
- 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するため

モアブレードの確認

- 1、下記警告情報をよく読んでください。
- 2、燃料タンク内の燃料の量を確認してください。もし3/4以上残っている場合は、燃料タンクの取り外し項を参照し燃料タンクを取り外してください。もし燃料が3/4もしくはそれ以下であれば次項へ進んでください。
- 3、安全に気を付けながら本機をリアバンパーを下側にして立ててください。



警告



本機を2時間以上リアバンパーを下側にして立てる場合はバッテリーを取り外してください。バッテリーの取り外し項を参照してください。モアブレードは下記のような摩耗や破損している場合には使用しないで下さい。モアブレード交換項を参照して適切な点検や

- 4、ブレード締め付けトルクを確認してください。(A,図244) 締め付けトルクは30~40ft. lbs.
- 5、ブレードの摩耗、破損の確認してください。ブレード摩耗限界項を参照してください。
- 6、ブレードが曲がっていない確認する。モアブレード調整項を参

ブレードブレーキの確認



警告



次の項では、エンジンとブレードを操作する必要があります。周辺の部品や工具類をきれいに片付けます。ブレードを操作するときは必ず運転席に座ってから捜査してください。

- 1、ブレードブレーキが適切に作動していることを確認してください。ブレードコントロールレバーをOFF位置もしくはブレードペダ



警告



ブレードペダルを離した場合、3秒以内に完全に停止します。もし、3秒以上回転し続ける場合は、ブレードブレーキを調整する必要があります。

販売店まで連絡ください。

ブレードブレーキが正常に作動するまで製品を使用しないで下さい。

- 2、もしブレードが停止するまでに3秒以上かかる場合には、本機の運転をせずに販売店まで連絡してください。

ブレーキ/駐車ブレーキのメンテナンス

- 1、ブレーキが正常に作動しているか確認する
 - ・ 駐車ブレーキを作動させ、本機を後ろから押し、リアタイヤが回転せず滑れば正常に作動している。
 - ・ 前進走行中にブレーキを作動させます。5ft未満で完全に停止します。
- 2、ブレーキが適切に作動し即内場合、ブレーキの再調整が必要です。販売店に連絡してください。

安全装置の確認

安全装置の確認は定期的に行ってください。



警告



安全装置が正しく取り付けられておらず、正しく機能していない場合は製品を使用しないで下さい。

以下の場合ではエンジンは始動しません。

- 1、クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれていない
- 2、ブレードコントロールがON位置

以下の場合ではエンジンが始動します。

- 1、ブレードコントロールがOFF位置
- 2、クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれている

エンジンとブレードは停止します。

- 1、ブレードコントロールがON位置で運転席からオペレーターが立ち上がった場合
- 2、クラッチ/ブレーキペダル完全に踏み込まれていない状態で運転席からオペレーターが立ち上がった場合

後進時モア停止解除システム

後進時モア停止解除システムをエンジン停止状態で確認する手順

- 1、ブレードペダルを踏み込む
- 2、クラッチ/ブレーキペダルを踏み込む
- 3、上記1、2の状態ですフトレバーが後進位置にならないこと



警告



後進時モア停止解除システムが適切に作動していない場合は本機を

バッテリーメンテナンス

バッテリーのメンテナンスは「バッテリー項」を参照してください。

モアデッキの水平度

モアデッキが水平に調整されているか確認してください。

モアデッキの調整項を参照して調整してください。

モアデッキの清掃



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしないでください。

- エンジンを停止
- ブレードを停止
- 駐車ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行ってください。
- 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するため

- 1、燃料タンク内の燃料の量を確認してください。もし3/4以上残っている場合は、燃料タンクの取り外し項を参照し燃料タンクを取り外してください。もし燃料が3/4もしくはそれ以下であれば次項へ進んでください。
- 2、安全に気を付けながら本機をリアバンパーを下側にして立ててください。
- 3、モアデッキの下面を清掃し、付着しているゴミや異物をすべて取り除いて下さい。
- 4、モアデッキの上部をきれいにしてすべてのゴミや異物を取り除

燃料フィルター

重要：燃料フィルターのメンテナンスはエンジンが冷えている状態で行ってください。

重要：燃料を止めるには燃料タンク (C,図25) をブラケットから取り外し、燃料レベルが燃料フィルタより下にくるようにセットします。「燃料タンクの取り外し」を参照してください。

- 1、燃料フィルター (A)からホースクランプ (B,図25) を取り外します。
- 2、燃料フィルターから燃料ホースを取り外します。取り外した燃料フィルタを廃棄してください。
- 3、新しい燃料フィルターを取り付けます。
- 4、取り外されている場合はブラケットに燃料タンクを取り付けます。
- 5、燃料ホースにクランプを慎重に取り付けます。

潤滑 - グリースフィッティング

装置にある次の部品にはグリースニップルが装備されており、定期的な潤滑が必要です。グリースガンを使って汎用グリース(NLGI No.2またはそれと同等の品)を注入してください。

1、モアブレードスピンドル

- 1、このページ内の警告指示に従ってください。
- 2、燃料タンク内の燃料の量を確認してください。もし3/4以上残っている場合は、燃料タンクの取り外し項を参照し燃料タンクを取り外してください。もし燃料が3/4もしくはそれ以下であれば次項へ進んでください。
- 3、安全に気を付けながら本機をリアバンパーを下側にして立ててください。
- 4、スピンドルグリースニップル (A,図26) から汎用グリースを注入してください。

メモ：一部のモデルには給油が必要のないシールつきスピンドルベアリングが装備されています。

重要：2時間以上製品をリアバンパーを下側にして立てる場合は「バッテリーの取り外し」項を参照してください。

2、フロントホイールベアリング

フロントホイールグリースニップル (A,図27) から汎用グリースを注入してください。

3、シフトレバー

シフトレバークリースニップル (A,図28) から汎用グリースを注入してください。

4、リアアクスルベアリング

- 1、左側リアアクスルベアリングのグリースニップル (A,図29) は、グリースを注入してください。
- 2、右側リアアクスルベアリングは、差動潤滑剤によって潤滑され、

潤滑 - モアデッキリンケージ

モアデッキのリンケージの支点は潤滑剤を塗布してください。

潤滑 - デフ/チェーンケース

1、製品をリアバンパーを下側にして立てた状態で、デフ (B)の充填/グリス量確認プラグ (A,図30) で亀裂や摩耗を確認してください。摩耗の兆候があれば充填/グリス量確認プラグ (A,図30) を交換してください。

重要：本機を2時間以上リアバンパーを下側にして立てる場合はバッテリーを取り外してください。バッテリーの取り外し項を参照してください。

2、トランスミッショングリス量を確認するには、充填/グリス量確認プラグを取り外し、内部を目視で確認します。内部にトランスミッショングリスが見えない場合は、必要に応じてトランスミッショングリスを追加してください。

重要：トランスミッショングリスを入れすぎるとグリスがドライブコンポーネントに漏れる場合があります。

3、チェーンケース (B)の充填/グリス量確認プラグ (A,図31) が損傷していないか核にしてください。亀裂や摩耗を確認してください。摩耗の兆候があれば充填/グリス量確認プラグ (A,図31) を交換してください。

4、トランスミッショングリス量を確認するには、充填/グリス量確認プラグを取り外し、内部を目視で確認します。内部にトランスミッショングリスが見えない場合は、必要に応じてトランスミ

その他

定期的なメンテナンスに加えて、本製品には以下の箇所に摩耗や損傷がないか艇規定に点検する必要があります。

- 1、全てのブッシュ、ピボット (支点) 箇所
- 2、前輪キングピン
- 3、トランスミッションシフトレバー
- 4、クラッチディスク
- 5、クラッチヨーク
- 6、モアデッキのリンクとピボット (支点)

摩耗または損傷した部品は交換してください。修理を行際には必ず純正部品を使用してください。

燃料タンクの取り外し

メモ：燃料タンクを取り外す際には屋外で換気の良い場所で行ってください。

- 1、機械の左側から燃料タンク (A,図32) をまっすぐ引き上げ、燃料タンクブラケット (B)から取り外します。
- 2、燃料タンクを持ち、燃料キャップ (C,図32) を取り外し、残りの燃料をガソリンに適合する容器に排出してください。

保管

メモ：製品をリアバンパーを下側にして立てた状態で保管することができます。

- 1、製品をしっかりと清掃してください。
- 2、必要に応じてメンテナンス及び潤滑材の注油、塗布を行ってください。
- 3、燃料タンクから燃料を排出してください。
(燃料劣化防止剤を使用しない場合-「燃料システム」を参照)
- 4、エンジンを始動し、燃料がなくなるまでエンジンを作動させてください。これにより、キャブレターと燃料システムが保管中に清潔に保つことができます。
- 5、バッテリーを取り外します。「バッテリーの保管」項を参照してください。
- 6、燃料キャップのベンチレーションを閉じてください。
- 7、必要に応じて、リアバンパーを下側にして立てた状態で保管し

燃料システム

30日以上保管すると燃料が劣化する恐れがあります。劣化した燃料は、燃料システムや重要なキャブレター部品に酸やガム質が生成され堆積する原因となります。燃料の鮮度を保つため、Briggs & Stratton Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizer, のご利用をお勧めします。この製品はBriggs & Stratton純正サービスパーツ販売店で入手することができます。指示に従って燃料安定剤を追加した場合は、エンジンからガソリンを抜くことは不要です。保管する前にエンジンを2分間起動し、燃料システム全体に安定剤を循環させます。エンジン内のガソリンに燃料安定剤を添加しない場合、規定の容器にガソリンを排出する必要があります。燃料が切れて止まるまでエンジンを回転します。鮮度を保つため、保存

エンジンの調整及び修理

エンジンの調整、修理は弊社指定修理店で行ってください。

モアデッキ及び本体の調整及び修理

調整および修理項目は所有者が行うことができます。ただし、弊社指定修理店で行うことをお勧めします。



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしないで行ってください。

- エンジンを停止
- ブレードを停止
- 駐車ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行ってください。
- 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するため

モアデッキの調整（左右の水平）

モアデッキの水平調整を行う前に、タイヤの空気圧を確認してください。フロントタイヤ15PSI、リアタイヤ12PSI。

タイヤの空気圧が適切に調整しても刈取が左右不均一の場合は、左右のデッキの水平調整を行ってください。

- 1、本機を水平な場所に移動します。
- 2、エンジンを停止し、キーを取り外します。スパークプラグのワイヤーを取り外し、ワイヤからスパークプラグを離して固定します。
- 3、モアデッキの下に木片やパイプまたは同様の物を置きます。
- 4、リアハンガーチェーン (A,図34) を取り外し、モアデッキのリアセンターを木片やパイプまたは同様の物に置きます。
- 5、ブレード先端から地面までの距離を測定します。
測定値が左右に1/8インチ以内にある場合、デッキの調整は正常です。左右の差が1/8インチ以上の場合には調整を行います。
- 6、ブレードペダル (B)の左側を保持するナット (B,図33) を緩めます。
- 7、必要に応じて、リフトアーム (C,図33) をブレードの先端が1/8インチ以内になるまで上下に動かします。
- 8、ステップ6で緩めたナットを締め付けます。デッキの左右が水平になっているかを確認します。
- 9、リアハンガーチェーンピボット (B,図34) を調整して、サポー

モアデッキの調整（前後の水平）

本機を水平な場所に移動します。

ブレードの先端がデッキの前後にくるまでブレードを回転させます。

ブレード先端から地面までの距離を測定します。(図34)

ブレードの先端が1/8インチから1/4インチブレードの後端より高くなるように調整してください。

- 1、リアハンガーチェーンを取り外します。(A、図34)
- 2、各ハンガーピボット (B,図34) を会いボルトの同じ回転数に回してデッキの後部を上下させます。
- 3、リアハンガーチェーンを取り付け、ブレード先端を再度測定します。

走行システム



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行うおとしないで行ってください。

- エンジンを停止
- ブレードを停止
- 駐車ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。火傷を防ぐため、械の保守を行う前にすべての部品が冷めてから作業を行ってください。
- 燃料キャップおよびベンチレーションを燃料漏れを防止するため

ブレーキ/駐車ブレーキ調整

乾いたコンクリート上でホイールブレーキをテストします。
適切に調整された状態では、最高速で5フィート以内に停止します。
停止距離が5フィートを超える場合は、次のようにホイールブレーキを調整する必要があります。

- 1、このページの警告指示に従ってください。
- 2、燃料タンク内の燃料の量を確認してください。もし3/4以上残っている場合は、燃料タンクの取り外し項を参照し燃料タンクを取り外してください。もし燃料が3/4もしくはそれ以下であれば次項へ進んでください。
- 3、安全に気を付けながら本機をリアバンパーを下側にして立ててください。
- 4、クラッチ/ブレーキペダル (A, 図9) を押し込みます。駐車ブレーキレバー (B) をON位置にして、クラッチ/ブレーキペダルを離して駐車ブレーキを動作させます。
- 5、クラッチ/ブレーキケーブルの端 (B) とハウジングの底部 (C) の間の距離 (A, 図35) を測定します。測定値が1/2インチから3/4インチ以下でなければなりません。
メモ：割りピン、ブレーキスプリング、クラッチヨーク (D, E, F, 図33) の形状は参考イラストとなります。
- 6、測定値が1/2インチ以下、3/4インチ以上の場合、2つのジャムナット (A, 図36) を緩め、クラッチ/ブレーキケーブル (B) をチェーンケースブラケットに固定します。
- 7、ジャムナットを使用してケーブルを上下に調整して、クラッチ/ブレーキケーブルの端 (図37) とハウジングの底面の間に1/2インチから3/4インチの距離を確保します。
- 8、調整が完了したら、ケーブルジャムナットをしっかりと締めつ

モアブレードの交換

警告
モアブレードを取り扱うときや作業するときは、厚い皮手袋を着用して下さい。ブレードは非常に鋭く、重傷を負う可能性があります。過度な摩耗や損傷の兆候を示すブレードは使用しないで下さい。

ブレードの摩耗限界

- 1、ブレードを頻繁に点検し、過度な摩耗や損傷の兆候が無い価格にします。(図37)
 - (A) 新品
 - (B) 摩耗限界
 - (C) 危険な状態

ブレードの研磨方法

- 1、このページの警告指示に従ってください。
- 2、燃料タンク内の燃料の量を確認してください。もし3/4以上残っている場合は、燃料タンクの取り外し項を参照し燃料タンクを取り外してください。もし燃料が3/4もしくはそれ以下であれば次項へ進んでください。
- 3、安全に気を付けながら本機をリアバンパーを下側にして立ててください。

- 4、モアブレード (A) をスピンドルに固定しているボルト (B, 図38)、ワッシャ (C)、ナット (D) を取り外します。
- 5、ブレードの状態を点検します。(図37)
- 6、ブレードが良好な状態であれば、22~28度で研磨します。(B, 図39) 既存の角度 (A) を超えて研磨しないで下さい。
- 7、研磨後にブレードのバランスをチェックします。必要に応じてブレードの重い側を研磨してブレードのバランスを修正します。
- 8、ブレードを取り付けなおします。ブレード取り付けボルトを30

バッテリー

バッテリーの取り外し

- 1、バッテリーカバー (A, 図40) の両側をラチェットファスナー (B) から話して慎重に引き出し、カバーを取り外します。
- 2、バッテリー押さえブラケット (B) を固定しているハードウェア (A, 図41) を取り外し、ブラケットを取り外します。
- 3、マイナス側バッテリー端子から黒色ケーブル (マイナス : C, 図

警告
バッテリーを取り外す際には黒色マイナスケーブルから取り外して

- 4、プラス側バッテリー端子から赤色ケーブル (プラス : A, 図42) を外します。取付金具を保管してください。
- 5、バッテリーをバッテリー台から取り外してください。

バッテリーの取り付け

- 1、バッテリーをバッテリー台に取り付けます。
- 2、プラス側バッテリー端子に赤色ケーブル (プラス : A, 図42) に

警告
バッテリーを取りつける際には赤色プラスケーブルから取りつけて

- 3、マイナス側バッテリー端子に黒色ケーブル (マイナス : C, 図42) に取り外していた取付金具で取り付けます。
- 4、端子には少量のグリスを塗布し、腐食を防止してください。
- 5、プラス端子カバー (B, 図42) をプラス端子の上に取り付けます。
- 6、取り外していたハードウェア (A) で固定し、バッテリー固定ブラケット (B, 図41) を取り付けます。

警告
プラス側端子には常時プラス端子カバーを取り付けてください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	処置
リコイルスターターでエンジンが始動できない	1、燃料タンクに燃料がない	1、燃料タンクに新鮮な燃料を入れる
	2、チョークを使用していない	2、スピードコントロールレバーをCHOKE位置にする
	3、スパークプラグワイヤーが接続されていない	3、スパークプラグに正しく取り付ける
	4、安全装置の作動不良	4、販売店にご連絡ください
	5、駐車ブレーキを使用していない	5、駐車ブレーキを使用する
	6、キースイッチがOFF位置にある	6、イグニッションスイッチをRUN位置にする
セルモーターでエンジンが始動できない	1、燃料タンクに燃料がない	1、燃料タンクに新鮮な燃料を入れる
	2、チョークを使用していない	2、スピードコントロールレバーをCHOKE位置にする
	3、スパークプラグワイヤーが接続されていない	3、スパークプラグに正しく取り付ける
	4、安全装置の作動不良	4、販売店にご連絡ください
	5、駐車ブレーキを使用していない	5、駐車ブレーキを使用する
	6、ヒューズが切れている	6、20 AMPヒューズを交換する
	7、インターロックモジュールの不良	7、販売店にご連絡ください
	8、キースイッチがOFF位置にある	8、イグニッションスイッチをSTART位置にする
	9、バッテリーが上がっている	9、バッテリーを再充電もしくは新しいバッテリーに交換する
	10、バッテリーケーブルの緩みもしくは破損、脱落、腐食	10、バッテリーケーブルの清掃もしくは適切に取り付ける もし破損している場合は新しいバッテリーケーブルに交換する
	11、スターターモーターもしくはスターターソレノイドの不良	11、販売店にご連絡ください
12、スターターケーブルの緩み、破損、取付不良	12、スターターケーブルを適切に取り付ける。もし破損している場合は新しいスターターケーブルとに交換する	
13、メインハーネスの接続不良もしくは破損	メインハーネスを適切に接続、もしくは交換する	
エンジンは始動するがすぐに停止してしまう	1、オペレーターが運転席に座っていない	1、オペレーターは運転席に必ず座って下さい
	2、エンジンスピードコントロールレバーがCHOKE位置にある	2、スロットルレバーをFAST位置にして作業する
	3、燃料タンクに燃料がない	3、燃料タンクに新鮮な燃料を入れる
	4、エアクリーナーもしくはプレクリーナーが汚れている	4、エアクリーナーもしくはプレクリーナーを交換する
	5、点火プラグの不良もしくはプラグギャップの異常	5、点火プラグの交換もしくはギャップ調整
	6、燃料フィルターの詰まり	6、燃料フィルターの交換
	7、燃料の劣化、ゴミ、水の混入	7、燃料の交換
エンジン出力が弱い	1、過負荷	1、適切な負荷で作業を行う
	2、エアクリーナーもしくはプレクリーナーが汚れている	2、エアクリーナーもしくはプレクリーナーを交換する
	3、点火プラグの不良もしくはプラグギャップの異常	3、点火プラグの交換もしくはギャップ調整
	4、燃料の劣化、ゴミ、水の混入	4、燃料の交換
	5、エンジンの冷却システムにゴミの堆積	5、エンジンの冷却システムの清掃

問題	考えられる原因	処置
エンジン停止時にバックファイヤが発生する	1、エンジン停止時にスピードコントロールレバーをFAST位置にする	1、エンジンスピードコントロールレバーをSLOW位置にしてからエンジンを停止する
振動が大きい	1、ブレードのバランス不良もしくはブレードの曲がり	1、モアブレードのバランス取りもしくは交換
	2、ブレード取り付けボルト及び周辺部品の緩み	2、緩んだボルト類の点検及び締め直し
	3、エアリフトの緩みもしくは脱落（装備されている場合）	3、緩んだボルト類の点検及び締め直しもしくは交換
	4、ベルトの変形、摩耗	4、ベルトの交換
	5、アイドラープーリー、スピンドルプーリーの曲り、破損	5、プーリーの交換
走行できない	1、ドライブディスクの摩耗もしくは破損	1、ドライブディスクの交換
	2、ラバードライブディスクが駆動力をドライブディスクに伝えられない	2、ラバードライブディスクの交換
	3、テーパースルボルトとナットの脱落	3、販売店へご連絡ください
	4、車軸ベアリングの固着	4、販売店へご連絡ください
	5、チェーンケース、トランスミッション、デフケース内の潤滑不良	5、販売店へご連絡ください
刃で芝を切断できない	1、ブレード作動レバーがOFFの位置にある	1、レバーをONの位置に動かす
	2、モアベルトが滑っている	2、モア駆動ベルトの調整もしくは交換
	3、ブレードが摩耗、破損している	3、ブレードの砥ぎ直しもしくはブレードの交換
適切に芝が刈れない	1、タイヤ空気圧が左右で異なっている	1、適切な空気圧に調整 前輪 : 15PSI(1.03BAR) 後輪 : 12PSI (0.83BSR)
	2、刈高さが高すぎるもしくは低すぎる	2、刈高さを適切な高さに調整
	3、エンジン回転数が低い	3、スピードコントロールレバーをFAST位置にして作業する
	4、車速が速すぎる	4、トランスミッションシフトレバーを操作して車速を遅くする
	5、刈った芝が平らでない	5、モアデッキの左右の高さを調整
	6、モアデッキが前後方向に水平でない	6、モアデッキの前後の高さを調整
	7、ブレードが摩耗もしくは破損している	7、ブレードの砥ぎ直しもしくはブレードの交換
	8、モアベルトが滑る	8、モアベルトの張力を調整もしくはモアベルトの交換
適切に芝が吐き出されない	1、エンジン回転数が低い	1、スロットルレバーをFAST位置にして作業する
	2、車速が速すぎる	2、トランスミッションシフトレバーを操作して車速を遅くする
	3、草が湿っている	3、草が乾いている時に作業を行う
	4、ブレードが摩耗もしくは破損している	4、ブレードの砥ぎ直しもしくはブレードの交換
	5、モアデッキの下面にゴミの付着や草の付着堆積	5、モアデッキの下面を清掃する
	6、不適切なブレードの使用	6、適切なブレードを使用する
オイル漏れ	1、チェーンケースからのオイル漏れもしくはデフケースのプラグからのオイル漏れ	1、チェーンケースのプラグが破損へ変形していないか確認
	2、エンジンからのオイル漏れ	販売店へご連絡ください

Product Specifications

2691382-00

2691383-00

Deck Size (in / cm)	28 / 71	33 / 84
Height of Cut (in / cm)	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2
Transmission Type	Variable-speed disc drive	Variable-speed disc drive
Ground Speed - Forward (mph / kph)	0.85 - 3.85 / 1,4 - 6,2	0.85 - 3.85 / 1,4 - 6,2
Ground Speed - Reverse (mph / kph)	0 - 1.6 / 0 - 2,6	0 - 1.6 / 0 - 2,6
Engine Displacement (cc)	344	500
Spark Plug Gap (in / mm)	0.030 / 0.76	0.030 / 0.76
Spark Plug Torque (lb-in / Nm)	180 / 20	180 / 20
Oil Capacity - with filter (oz / l)	46 - 48 / 1,36 - 1,40	46 - 48 / 1,36 - 1,40
Fuel Tank Capacity (qt / l)	5 / 4,7	5 / 4,7

***出力定格：**各ガソリンエンジンモデルの出力定格は、SAE(自動車技術者協会)のコードJ1940(小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き)に従ってラベル上に表示され、SAE J1995に従ってレーティングが行われます。トルクは、ラベルにrpmと示されているエンジンでは2600 RPMで、その他のエンジンでは3060 RPMで計測され、馬力は3600 RPMで計測します。グロス出力曲線はwww.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧いただけます。ネット出力は排気装置と空気清浄機を取り付けた状態で測定され、またグロス出力はこれらの部品のない状態で測定されます。実際のグロスエンジン出力はネットエンジン出力よりも高く、また特に周囲の動作条件や各エンジンの特性の違いによる影響を受けます。様々な製品にエンジンが搭載されることを考えると、特定の出力装置で使用された場合、ガソリンエンジンは定格のグロス出力を得られない場合があります。この差は、エンジン部品(空気清浄機、排気装置、充電器、冷却装置、キャブレター、ガソリンポンプなど)、使用における制限、周囲の動作環境(温度、湿度、海拔)、各エンジンの特性の違いなど様々な要因によって生じます。製造および能力上の制限により、Briggs & Strattonでは、このエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用する場合があります。